

第 115 回 全国健康保険協会千葉支部評議会の概要報告

開 催 日	令和 2 年 12 月 4 日 金曜日 14 : 30 ~ 16 : 15
開 催 場 所	日本生命千葉ビル 4 階会議室
出席者	小賀野評議員（議長）、椎名評議員、鈴木評議員、中野評議員、萩原評議員、 米山評議員（五十音順） 欠席：飯田評議員、宮本評議員
議題	1. 令和 2 年度千葉支部の上期実施状況について〈報告事項〉 2. 令和 3 年度保険料率に関する議論の状況について〈報告事項〉 3. インセンティブ制度に係る令和元年度実績〔確定値〕について〈報告事項〉 4. 令和 3 年度支部保険者機能強化予算について〈報告事項〉 5. その他
議 事 概 要 (主な意見等)	
<p>1. 令和 2 年度千葉支部の上期実施状況について〈報告事項〉</p> <p>■資 料 1：令和 2 年度 千葉支部上期実施状況</p> <p><u>主な意見・質問等</u></p> <p>【被保険者代表】 実施計画を立てた際には、コロナを想定していなかった為に、今年度は厳しい実施状況であったと考える。 特に、特定健診受診率について、健診場所の確保が必要だが、コロナ禍だと厳しい。重要なのは、しっかりと理由付けをして、それを踏まえ、どのように改善していくかである。 ただし、支部内のコンプライアンス及びリスク管理の徹底はコロナ禍とは関係ないのでしっかりとやっていただきたい。</p> <p>【学識経験者・議長】 コロナ禍を通じて何か新しい事業運営や試みはあるか。 ⇒特定保健指導では、ICT を活用した保健指導がある。先行支部の事例を参考にしながら検討を進める。 ⇒健診実施機関について、緊急事態宣言下で 4 月から 5 月にかけては、健診事業がほとんどできなかった。</p>	

そこで、緊急事態宣言時に行う予定だった健診事業を夏以降に実施する計画としていたが、健診機関の三密対策やキャパシティの問題で思うように実施できておらず、状況は芳しくない。

また、最近では感染者の増加が目立っており、今後、健診実施機関にとってどのように影響してくるかなど、状況に注視しながら対応を検討したい。

【被保険者代表】

健診の受診については年度をまたいでの受診の可否も検討したか。

年度ごと受診が法律で定められており、遵守しなければならないのであれば、見解をしっかりと発信すべきである。

⇒今年度、健診受診ができなかった場合、来年度にまたいで受診ができるような対応を本部でも検討したが、今のところ環境や効果の面からも困難となっている。

【学識経験者・議長】

法律はコロナ禍といった異常時を想定していない。異常時に支部として健診受診についての特別な対応を検討しているか。

⇒健診実施機関との細かい情報連携を取り、検討していきたい。

2. 令和3年度保険料率に関する議論の状況について〈報告事項〉

■資料 2-1：令和3年度保険料率について（支部評議会における主な意見）

■資料 2-2：医療保険制度の改革に向けた被用者保険関係5団体の意見

主な意見・質問等

【学識経験者・議長】

被用者保険関係5団体のなかで、相違点等があったのか。

⇒細かい点で相違はあるものの、基本的にはそれぞれの団体が「保険者機能強化」という目標に向け共通事項を伝えるものである。

【学識経験者】

拠出金負担の軽減のなかで、安定財源とはなにを意味しているのか。

⇒安定財源とは「税」であり、公費負担を増やすために「税」を確保するという主旨である。

現役世代の負担増を抑えるため、後期高齢者の負担を2割とするのは分かる。

しかし、後期高齢者の収入は専門的な技術をもった方以外は年金による収入が主である。

後期高齢者の収入が増える見通しはないように思えるため、高齢者になってからの職業教育訓練の場を設ける必要があり、セットで進めていくべき。

3. インセンティブ制度に係る令和元年度実績 [確定値] について (報告事項)

■資料 3: インセンティブ制度に係る令和元年度実績の評価方法等について

主な意見・質問等

【被保険者代表】

一番のベースは健診受診率である。

しかし、先の見えぬコロナ禍で受診率を上げることは難しく、今、力を入れて取り組むべきか疑問である。本部にコロナ禍でも今の形でやるのか、2年周期に変更するなど根本的に変えていくべきか疑問を投げかけ、意思を明らかにしてほしい。

特定保健指導の実施率が平成30年度に比べ、下がっているのはなぜか。

⇒令和元年度は支部健診指導者の欠員が大きく影響し、特定保健指導の実施率が下がったため、得点も下がっている。

4. 令和3年度支部保険者機能強化予算について (報告事項)

■資料 4: 令和3年度支部保険者機能強化予算について

主な意見・質問等

【学識経験者・議長】

予算枠内に応じた計画変更等、予算額の見直しはやむを得ないことか。

⇒実施方法や規模、これまでの実績を踏まえ、本部より示されているものである。

特記事項

- ・ 次回の開催は、令和3年1月15日(金)の予定。
- ・ Zoom等オンラインでの開催を検討中。